

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会 プライマリ・ケア認定薬剤師研修会

「 気候危機時代の薬剤師の患者安全:

病棟・外来・地域薬局でできるプラネタリーヘルスの実践 」

(2026 年 9 月 6 日 日曜日【午前】)オンライン開催案内

【一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会は日本医学会の第109分科会です。そして、プライマリ・ケア認定薬剤師制度は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構（GPC）から「特定領域」の認定制度としての認証（認証番号 P02）を取得しております。】

患者さんを守るために、薬剤師だから気づける“気候リスク”があります。

熱中症、喘息、残薬など、日々の業務をプラネタリーヘルスの視点でアップデート。

未来の医療につながる新しい薬剤師の役割を一緒に考えましょう。

① 復習的内容：プラネタリーヘルス薬剤師とは何か

② アップデート：薬剤師に関係するプラネタリーヘルスの3大論点

1. 暑熱と薬剤 2. 吸入薬と大気・気候 3. 薬剤による環境汚染

③ 症例ワーク：この患者さん、どこに気候リスクがある？

④ 気候コミュニケーション術：患者・医師・看護師にどう伝えるか（ロールプレイ）

今回は、ZOOM を使ったオンラインでの研修会開催とさせていただきます。研修に参加するには、一人一台のインターネットに接続可能なPC（カメラとマイク付き）、またはタブレットが必要となります。スマートフォンでの参加はご遠慮願います。

（細則による必須領域：A.D.I.J.）

要 項		
1	主 催	一般社団法人 日本プライマリ・ケア連合学会 薬剤師部会研修担当
2	研修期間	2026 年 9 月 6 日（日）【午前】9:20～12:30
3	研修会場	Zoom を利用したオンラインでの研修会になります。お申し込みで入力したメールアドレスに配信 URL を送付いたしますので、開始時間になりましたら、その URL をクリックして研修会にご参加下さい。研修会終了後、グーグルフォームへのアンケートに当日中にご回答下さい。
4	認定単位	薬剤師:2 単位(認定薬剤師単位)、医師:3 単位(更新のための単位)
5	受講資格	薬剤師、医師、歯科医師、看護師、医療職、医療関係者
6	定員	80 名「スモールグループ形式/ブレイクアウトルーム使用」
7	受講申込	締め切り:2026 年 8 月 21 日(金)午後 5 時 ホームページからの申込による先着順となり、定員になり次第締め切ります。 電話、ファクシミリ、メールによる申込は受付けておりません。
8	受講振込	申込書を受信後、順次ご入金方法についてご案内させていただきます。 ※ 指定期日以内にお振込みの確認ができない方は、キャンセル扱いとなりますのでご留意願います。
9	受講料	5,500 円 但し、日本プライマリ・ケア連合学会会員は 4,000 円 ※ 受講料入金後のキャンセル又は欠席の場合、原則として受講料の返金はできません。

申し込み先：日本プライマリ・ケア連合学会事務局担当係プライマリ・ケア認定薬剤師研修会事務局
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A 有限会社あゆみコーポレーション内

TEL:06-6449-7760 FAX:06-6441-2055 jpca@a-youme.jp

プログラム

2026 年 9 月 6 日（日曜日）

9:20~12:30	「気候危機時代の薬剤師の患者安全：病棟・外来・地域薬局でできるプラネタリーヘルスの実践」 講師陣：みどりのドクターズ 患者さんを守るために、薬剤師だから気づける“気候リスク”があります。 熱中症、喘息、残薬など、日々の業務をプラネタリーヘルスの視点でアップデート。 未来の医療につながる新しい薬剤師の役割を一緒に考えましょう。 総合司会 佐々木隆史 総合診療医 ① 復習的内容：プラネタリーヘルス薬剤師とは何か 講師：佐藤 絹子 薬剤師 「気候変動」「生物多様性」「汚染」の3つを、薬剤師の仕事に引き寄せます。 気候変動を熱中症、心肺疾患、喘息、水・食中毒、媒介感染症、メンタルヘルスなどにつなげる ② アップデート：薬剤師に関係するプラネタリーヘルスの3大論点 1. <u>暑熱と薬剤</u> 講師：松本一希 総合診療医 「薬剤師だから熱中症ハイリスクを見つけれられる」という方向 2. <u>吸入薬と大気・気候</u> 講師：原 伶奈 呼吸器内科医 喘息・COPDの悪化、大気汚染、花粉、雷雨喘息、吸入手技、アドヒアランス。 ここに吸入薬の環境負荷も入れる。“環境のために薬を変える”ではなく、“治療の質を守ったうえで選択肢を考える 3. <u>薬剤による環境汚染</u> 講師：大石和美 薬剤師・屋間悠名 薬学生 残薬、廃棄薬、抗菌薬、ホルモン薬、鎮痛薬、下水・河川、生態系への影響。 適正使用・残薬削減・廃棄方法・処方提案・抗菌薬適正使用に落とす ③ 症例ワーク：この患者さん、どこに気候リスクがある？ 前講義をふまえて、薬剤師として何を確認する？ 誰にどうつなぐ？ ④ 気候コミュニケーション術：患者・医師・看護師にどう伝えるか（ロールプレイ） （細則による必須領域 A, D, I, J）
------------	---

20分以上の遅刻・早退は原則単位になりませんのでご注意ください。

【講師紹介】

氏名：佐々木 隆史（医師）	所属：医療生協こうせい駅前診療所
氏名：佐藤 絹子（薬剤師）	所属：株式会社なの花北海道 なの花薬局幸町店
氏名：松本 一希（医師）	所属：千葉大学予防医学センター
氏名：原 伶奈（医師）	所属：大阪刀根山医療センター 呼吸器内科
氏名：大石 和美（薬剤師）	所属：丸山薬局
氏名：屋間 悠名（薬学生）	所属：和歌山県立大学 薬学部